

Topics

- ✓ 不眠症状の改善意向がありつつも医療機関の受診には至らない主な理由は、「病院・クリニックに行くほどの症状ではない」「ストレスが原因だと思っている」
- ✓ 受診患者が「医療機関で睡眠障害治療ができると知った」情報源の上位は、「(他の病気で受診した際の) 医師・看護師・薬剤師」「医療機関のホームページ」。また睡眠障害を医療機関で治療する決め手となった情報は、主に「薬で治療できる」「医師等に相談できる」と知ったこと
- ✓ 受診患者における満足度は約6割で、他の対処法を大きく上回る。また医師とのコミュニケーションに約半数が満足しているものの、医療従事者とのコミュニケーションのさらなる充実が、今後の睡眠に関するサポートとして特に求められている

調査背景・目的

不眠に悩む人の増加が問題となっており「睡眠障害」のための診療科の新設も検討されていることを踏まえ、睡眠障害の症状がある方（受診あり/なし）と医師に、受診に至るきっかけや治療満足度などを確認した。

パネル保有の各種データを紐づけて
様々な追加分析も可能です。
詳細はお問合せください。

例) アプリ利用歴、睡眠時間、決済、
趣味嗜好、位置情報、性格推定、他

調査概要

	睡眠障害の症状がある方	医師
調査方法	全国インターネット調査（TenQuick）	
使用パネル	dポイントクラブアンケート（ヘルスケア）パネル	プラメド医師パネル
対象者条件	最近1年間に、「眠れない（不眠）・眠りが浅い」「日中の強い眠気」の症状あり	19床以下の 精神科/一般内科で、最近1か月間に薬物治療を開始した睡眠障害の患者さんが2人以上
有効回答数	2600s（受診あり：1300s / 受診なし：1300s）	120s（精神科：60s / 一般内科：60s）
調査期間	2025年4月28日 ～ 4月29日	2025年5月8日 ～ 5月11日
調査主体	株式会社インテージヘルスケア	

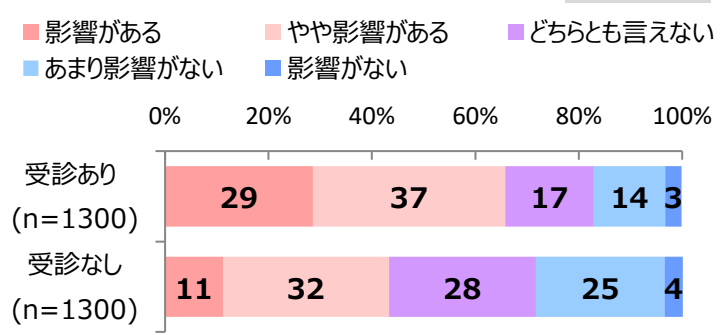
調査結果

不眠症状の日常生活への影響

<単一回答>

受診あり

受診なし



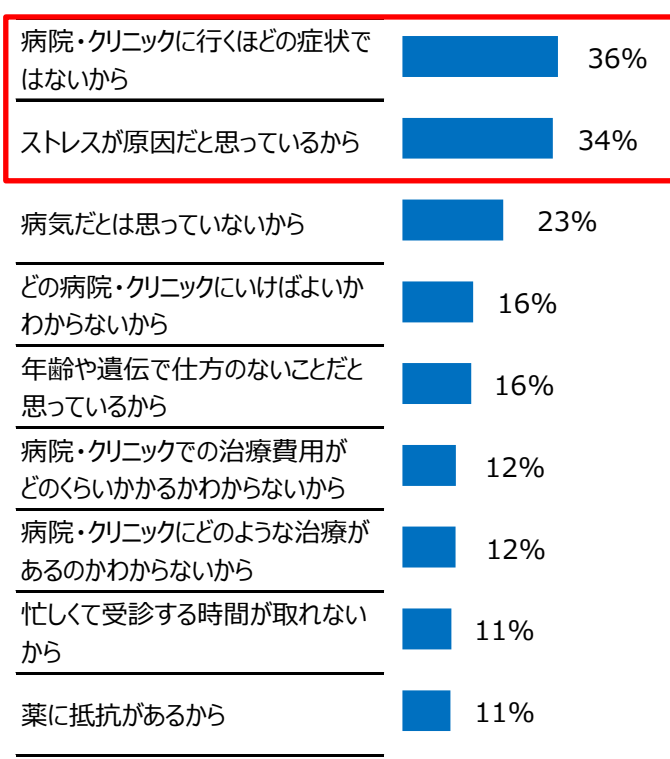
医療機関を受診していない理由

受診なし

<複数回答可>

*10%以上の項目を抜粋

[不眠改善意向ありベース
(n=1069)]



不眠症状の改善意向

<単一回答>

受診あり

受診なし

